(19)日本国特新庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-137387

(43)公開日 平成6年(1994)5月17日

(51)Int.CL⁵

識別記号 庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所

F16H 3/44

Z 9030-3 J.

F 1 6 D 25/10

A 9137-3 J

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号

(22)出願日

特願平4-290029

平成 4年(1992)10月28日

(71)出願人 000005326

本田技研工業株式会社

東京都港区南青山二丁目1番1号

(72)発明者 田中 治雄

埼玉県狭山市新狭山1丁目10番地1 ホン

ダエンジニアリング株式会社内

(72)発明者 武田 俊樹

埼玉県狭山市新狭山1丁目10番地1 ホン

ダエンジニアリング株式会社内

(72)発明者 熊谷 頼範

埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会

社本田技術研究所内

(74)代理人 弁理士 北村 欣一 (外2名)

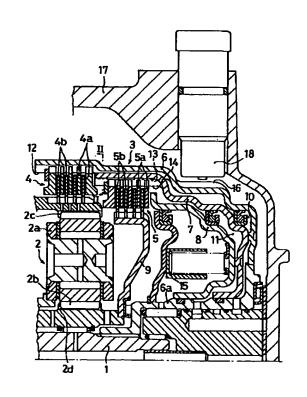
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 油圧式ダブルクラッチ

(57)【要約】

【構成】 第1クラッチ部4のドラムとなる第1クラッ チドラム6内に第2クラッチ部5のドラムとなる第2ク ラッチドラム7をスプライン係合させ、両ドラム6、7 の端壁間の油室10に給油したとき、第1クラッチドラ ム6の開口部寄りの部分にスプライン係合した第1クラ ッチ部4のクラッチプレート4 aが第2クラッチドラム 7により押圧されて第1クラッチ部4が締結されるよう にする。第1クラッチドラム6に形成する第2クラッチ ドラム7用のスプライン部13をクラッチプレート4a 用のスプライン部12より小径に形成する。

【効果】 第1クラッチ部のクラッチプレートをその径 方向中間部分に第2クラッチドラムを突き当てて押圧で き、クラッチプレートの傾きや偏摩耗を生ずることなく 第1クラッチ部を良好に締結できる。



1

【特許請求の範囲】

, .≀

【請求項1】 第1と第2の1対のクラッチ部を備える 油圧式ダブルクラッチであって、第1クラッチ部のドラ ムとなる第1クラッチドラム内に第2クラッチ部のドラ ムとなる第2クラッチドラムを開口部が第1クラッチド ラムの開口部と同方向を向くように収納して、第2クラ ッチドラムをその外周において第1クラッチドラムにス プライン係合させ、第2クラッチドラムを油圧により第 1クラッチドラムの開口部側に押動させて、第1クラッ チドラムの開口部寄りの部分にスプライン係合させた第 10 1クラッチ部のクラッチプレートを第2クラッチドラム で押圧するようにしたものにおいて、第1クラッチドラ ムに、第1クラッチ部のクラッチプレートを係合させる 開口部寄りの第1スプライン部に隣接して該第1スプラ イン部より小径の第2スプライン部を形成し、該第2ス プライン部に第2クラッチドラムを係合させたことを特 徴とする油圧式ダブルクラッチ。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、自動変速機等に用いら 20 れる、第1と第2の1対のクラッチ部を備える油圧式ダ ブルクラッチに関する。

[0002]

【従来の技術】従来、この種のダブルクラッチとして、 特開平2-146345号公報により、第1クラッチ部 のドラムとなる第1クラッチドラム内に第2クラッチ部 のドラムとなる第2クラッチドラムを開口部が第1クラ ッチドラムの開口部と同方向を向くように収納して、第 2クラッチドラムをその外周において第1クラッチドラ ムにスプライン係合させ、第2クラッチドラムにスプラ 30 イン係合させた第2クラッチ部のクラッチプレートを第 2クラッチドラムに内蔵させた油圧に応動するピストン により押圧して第2クラッチ部を締結すると共に、第2 クラッチドラムを油圧により第1クラッチドラムの開口 部側に押動させて、第1クラッチドラムの開口部寄りの 部分にスプライン係合させた第1クラッチ部のクラッチ プレートを第2クラッチドラムにより押圧し、第1クラ ッチ部を締結するようにしたものが知られている。そし て、このものでは、第1クラッチドラムにその開口部か ら第2クラッチドラムの摺動部に亘る真直なスプライン 部を形成し、このスプライン部に第1クラッチ部のクラ ッチプレートと第2クラッチドラムとを係合させてい る。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】上記の如く共通のスプ ライン部にクラッチプレートと第2クラッチドラムとを 係合させると、第2クラッチドラムがクラッチプレート の外周寄りの部分に対向して、第2クラッチドラムから の押圧力がクラッチプレートの外周側に偏って作用し、 クラッチプレートが傾いてインナ側のクラッチプレート 50 を挟むようにして複数枚スプライン係合されており、ま

にうまく摩擦係合しなくなったり偏摩耗を生じ易くな る。本発明は、以上の点に鑑み、第2クラッチドラムを 第1クラッチ部のクラッチプレートの径方向中間部分に 当接させて第1クラッチ部を良好に締結し得るようにし た油圧式ダブルクラッチを提供することをその目的とし ている。

2

[0004]

【課題を解決するための手段】上記目的を達成すべく、 本発明は、第1と第2の1対のクラッチ部を備える油圧 式ダブルクラッチであって、第1クラッチ部のドラムと なる第1クラッチドラム内に第2クラッチ部のドラムと なる第2クラッチドラムを開口部が第1クラッチドラム の開口部と同方向を向くように収納して、第2クラッチ ドラムをその外周において第1クラッチドラムにスプラ イン係合させ、第2クラッチドラムを油圧により第1ク ラッチドラムの開口部側に押動させて、第1クラッチド ラムの開口部寄りの部分にスプライン係合させた第1ク ラッチ部のクラッチプレートを第2クラッチドラムで押 圧するようにしたものにおいて、第1クラッチドラム に、第1クラッチ部のクラッチプレートを係合させる開 口部寄りの第1スプライン部に隣接して該第1スプライ ン部より小径の第2スプライン部を形成し、該第2スプ ライン部に第2クラッチドラムを係合させたことを特徴 とする。

[0005]

【作用】第2クラッチドラムを係合させる第2スプライ ン部が第1クラッチ部のクラッチプレートを係合させる 第1スプライン部より小径に形成されているため、第2 クラッチドラムがクラッチプレートの径方向中間部分に 当接し、クラッチプレートの傾きが防止されて第1クラ ッチ部が良好に締結される。

[0006]

【実施例】図1を参照して、1は自動変速機の入力軸で あり、入力軸1上に遊星ギア機構2とこれを制御する油 圧式ダブルクラッチ3とを設けた。該ダブルクラッチ3 は、キャリア2aに軸支される遊星ギア2bに噛合する リングギア2cとサンギア2dとを夫々入力軸1に連結 する第1と第2の1対のクラッチ部4、5を備えてお り、第1クラッチ部4のドラムとなる第1クラッチドラ ム6をその端壁に取付けた内周のハブ6aにおいて入力 軸1にスプライン係合させ、該第1クラッチドラム6内 に第2クラッチ部5のドラムとなる第2クラッチドラム 7を開口部が第1クラッチドラム6の開口部と同方向を 向くように収納して、第2クラッチドラム7をその外周 において第1クラッチドラム6にスプライン係合させ た。

【0007】第1クラッチドラム6の開口部寄りの部分 には、第1クラッチ部4のクラッチプレート4 aがリン グギア2aに装着したインナ側のクラッチプレート4b

た、第2クラッチドラム7には、ピストン8が内蔵され ると共に、その開口部寄りの部分に位置させて、第2ク ラッチ部5のクラッチプレート5aがサンギア2bに問 定のフランジ部材9に装着したインナ側のクラッチプレ ート5bを挟むようにして複数枚スプライン係合されて いる。そして、第1クラッチドラム6の端壁と第2クラ ッチドラム7の端壁との間に第1の油室10と、第2ク ラッチドラム7の端壁とピストン8との間に第2の油室 11とを画成し、第1の油室10に圧油を給油したと 口部側に押動し、第1クラッチ部4のクラッチプレート 4aが第2クラッチドラム7により押圧されて第1クラ ッチ部4が締結され、また、第2油室11に圧油を給油 したとき、ピストン8が第2クラッチドラム7の開口部 側に押動し、第2クラッチ部5のクラッチプレート5a がピストン8により押圧されて第2クラッチ部5が締結 されるようにした。

【0008】前記両クラッチドラム6、7は共に板金の プレス成形品で構成されており、第1クラッチドラム6 に、第1クラッチ部4のクラッチプレート4aを係合さ 20 せる開口部寄りの第1スプライン部12と、第1スプラ イン部12に隣接する第1スプライン部12より小径の 第2スプライン部13とを段付形状の歯形パンチを用い てプレス成形し、一方、第2クラッチドラム7に第2ク ラッチ部5のクラッチプレート5 aを係合させる開口部 寄りのスプライン部14をプレス成形し、第2クラッチ ドラム7を該スプライン部14の外面において図2に示 す如く前記第2スプライン部13に係合させた。

【0009】このように、第1スプライン部12より小 径の第2スプライン部13に第2クラッチドラム7を係 30 12 第1スプライン部 合させることにより、第2クラッチドラム7の開口部端 面に対向するクラッチプレート4 aの部分が第1スプラ

4

イン部12への係合箇所となるクラッチプレート4aの 外周部分より内側にずれ、クラッチプレート4aがその 径方向中間部分で第2クラッチドラム7により押圧さ れ、インナ側のクラッチプレート4bにクラッチプレー ト4 aが傾くことなく圧接し、第1クラッチ部4が良好 に締結される。

【0010】図中15はピストン8と第2クラッチドラ ム7とを退動方向に付勢するリターンスプリング、16 は第1クラッチドラム6の端壁寄りの部分に形成したパ き、第2クラッチドラム7が第1クラッチドラム6の開 10 ルサ歯形であり、ミッションケース17に該歯形16に 対向するピックアップ18を取付けて、回転速度を検出 するようにした。

[0011]

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明 によれば、第1クラッチドラムにスプライン係合させる 第1クラッチ部のクラッチプレートをその径方向中間部 分に第2クラッチドラムを突き当てて押圧でき、クラッ チプレートの傾きや偏摩耗を生ずることなく第1クラッ チ部を良好に締結できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明クラッチの一例の縦断面図 【図2】 図1のII-II線横断面図

【符号の説明】 3 油圧式ダブルクラッチ

4 第1クラッ

チ部

4a クラッチプレート 5 第2クラ

ッチ部

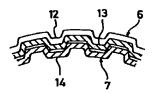
6 第1クラッチドラム 7 第2クラッ

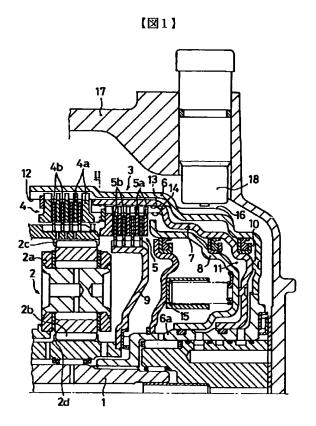
チドラム

13 第2スプ

ライン部

【図2】





フロントページの続き

(72)発明者 小島 洋一 埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会 社本田技術研究所内 PAT-NO: JP406137387A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06137387 A

TITLE: HYDRAULIC DOUBLE CLUTCH

PUBN-DATE: May 17, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TANAKA, HARUO

TAKEDA, TOSHIKI

KUMAGAI, YORINORI

KOJIMA, YOICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HONDA MOTOR CO LTD

N/A

APPL-NO: JP04290029

APPL-DATE: October 28, 1992

INT-CL (IPC): F16H003/44, F16D025/10

US-CL-CURRENT: **475/146**

ABSTRACT:

PURPOSE: To make the locking of a first clutch

part desirable by forming a second spline part, smaller in diameter than a first spline part, adjacently to this opening part side first spline part for engaging a clutch plate with a first clutch drum, and engaging a second clutch drum with this second spline part.

CONSTITUTION: When pressure oil is fed to a first oil chamber 10, a second clutch drum 7 is pushed to move onto the opening part side of a first clutch drum 6, and the clutch plates 4a of a first clutch part 4 are pressed by the second clutch drum 7 to lock the first clutch part The second clutch drum 7 is engaged with a second spline part 13 smaller in diameter than a first spline part 12. The clutch plate 4a part opposed to the opening part end face of the second clutch drum 7 is thereby dislocated inward from the outer peripheral part of the clutch plate 4a to be the engaged place to the first spline part 12, so that the clutch plate 4a is brought into pressure contact with the inner clutch plate 4b without being inclined. The first clutch part 4 is thereby locked desirably.

COPYRIGHT: (C) 1994, JPO& Japio